

注目の決算をピックアップ

上水道基本料金減免

【決算:5218万円】



【物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金活用】

物価高騰の影響を受けている町民や事業者の負担を軽減するため、上水道基本料金(3か月分)の減免事業を実施した。

また、上水道未使用世帯と事業所293件に減免相当額の燃えるごみ袋を配付した。

check point 『町民からは「日々の生活に直結するのでとてもありがたい」との声も届いている。』

町道竹ヶ下～桜ヶ丘線道路法面動態観測業務

【決算:1121万円】



令和3年度の被災直後から継続して復旧工事箇所の動態観測を実施。

また、令和5年7月の大雨により被災箇所が増えたことから動態観測箇所を追加。災害復旧工事は令和7年度内の完了を予定している。

check point 『二度と崩落が発生しないよう、しっかり観測を行いながら工事を進めてもらいたい。』

プレミアム付き地域商品券発行事業

【決算:1219万円】

★20%プレミアム★



【物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金活用】

福岡県の補助金が電子マネーを対象としているため、紙媒体の商品券からはじめて電子プレミアム付き商品券に変更した。

販売総額: 100,000,000円
プレミアム総額: 20,000,000円
換金率: 99.49%

check point 『国の交付金は町民の生活に寄り添い、事業者支援につながる使い道とすることが大切だ。』

消防車購入事業費(第4分団)

【決算:2475万円】



【緊急防災・減災事業債(充当率100%)活用】

平成16年度に購入した宇美町消防団第4分団小型動力ポンプ積載車が購入後19年経過しているため、車両の更新を行った。

check point 『今年は全国各地で山火事が多発した。井野山などの山間地を管轄している第4分団には、機動性に優れた小型ポンプ車を整備することで、山林火災にもしっかり対応していただきたい。』

議員が注目したお金の使い道

(万円未満四捨五入)

小中学校給食費値上げ分補填

【決算:2062万円】



【物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金活用】

物価高騰の影響で、令和6年度は学校給食費も一食当たり40円の値上げが必要となった。

値上げ分は、各世帯への負担を求めず、国の交付金を活用し、経済的負担軽減を図った。

check point 『今後も保護者の負担が変わらぬよう、値上げ分は町が努力して対応していくべきだ。』

ボランティア・町民活動支援センター運営事業

【決算:397万円】



ボランティア・町民活動支援センター「ふみらぼ」は、ボランティアを始めたい人とボランティア団体とのマッチングや、団体活動へのアドバイスなどを支援している。

check point 『ボランティアセンターの認知度が低いことが課題と考えられる。広報うみやSNSをうまく活用し、さらなる積極的な情報発信で活動が周知されることを望む。』

西鉄バス宇美～太宰府線

運行維持負担事業

【決算:180万円】



西鉄バス宇美～太宰府線の路線維持を目的として、運行に係る経費の赤字分を宇美町と太宰府市で距離按分により負担した。

運行期間 令和5年10月1日～令和6年9月30日

運行赤字 3,325,014円×0.54046(距離按分率)=1,797,000円

check point 『路線を維持するために、町の負担は致し方ないが、負担金を少なくしていくためにも、利用者を増やしていく取組が必要だ。』

粕屋南部消防組合運営事業

【決算:4億654万円】



粕屋南部消防組合の運営にあたり、糟屋6町で分担金を負担した。(総額22億円)

粕屋南部消防本部は、消防・救助活動を担うほか、防災センターを備え、町民の自主防災力向上を図るための防災学習なども行っている。

check point 『小中学生の総合学習や、自主防災組織での活動などの場面で積極的に防災センターを活用してほしい。』